

地域課題について

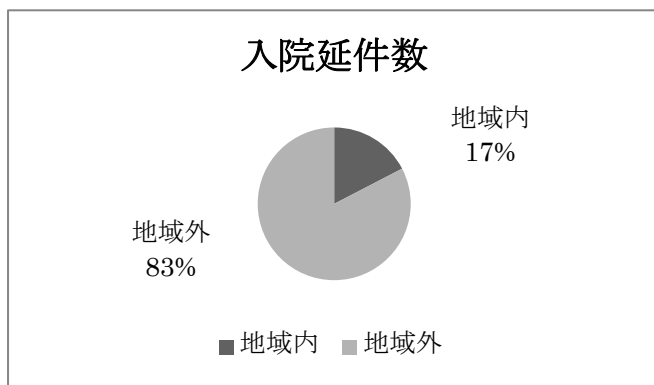
1. 各事業を通じた地域課題の抽出結果と今後の対応について

(1) 尾張中部地域レセプトデータ分析による高齢者の医療機関の利用実態把握

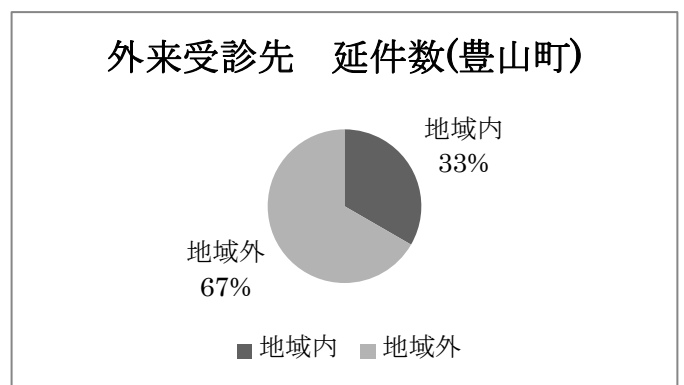
目的	在宅医療・介護連携推進事業を実施するにあたり、清須市・北名古屋市・豊山町の住民の医療機関の利用実態を把握し、今後の連携方法について検討していく
分析方法	レセプトデータより、65～74歳の国民健康保険被保険者で、平成29年9月に入院した者（清須市102人、北名古屋市135人、豊山町23人）を抽出し、平成30年3月までの医療機関利用実態を調査した

【豊山町の分析結果】 ※地域内=清須市・北名古屋市・豊山町の医療機関

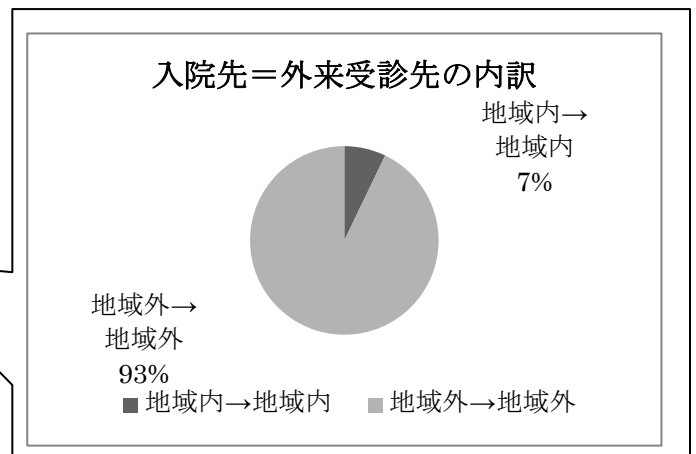
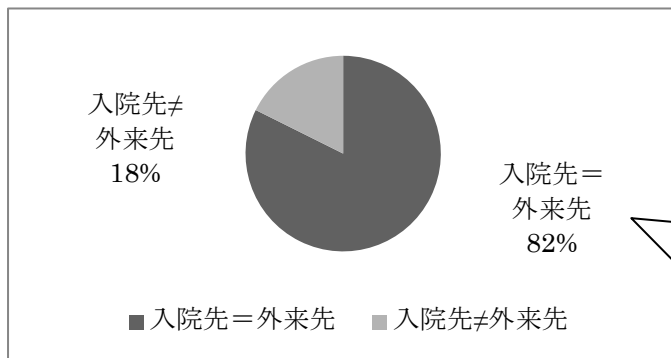
①入院した医療機関の地域



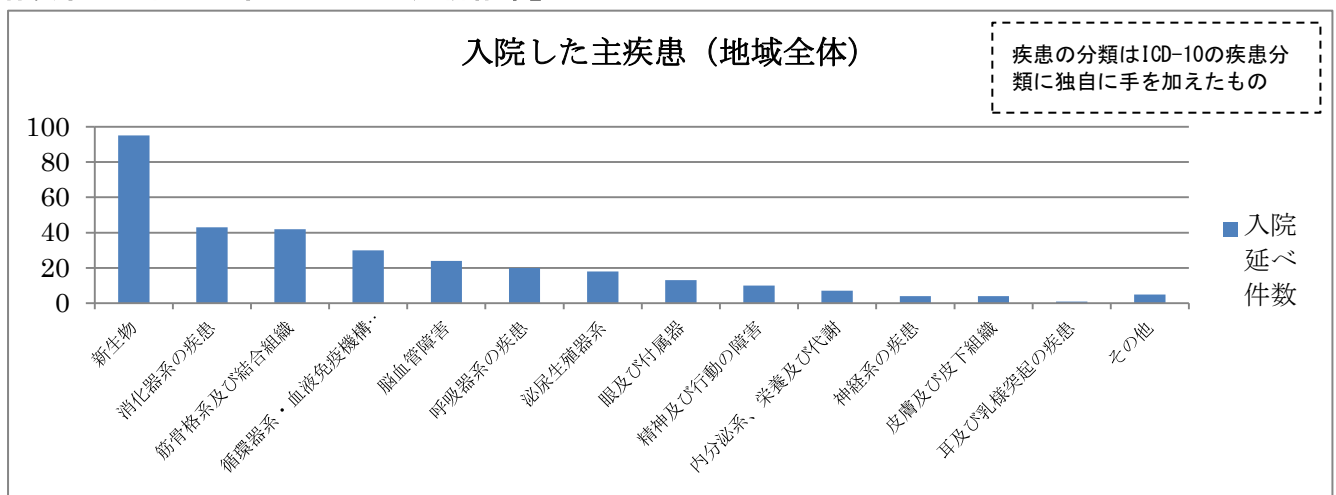
②退院後外来受診した医療機関の地域

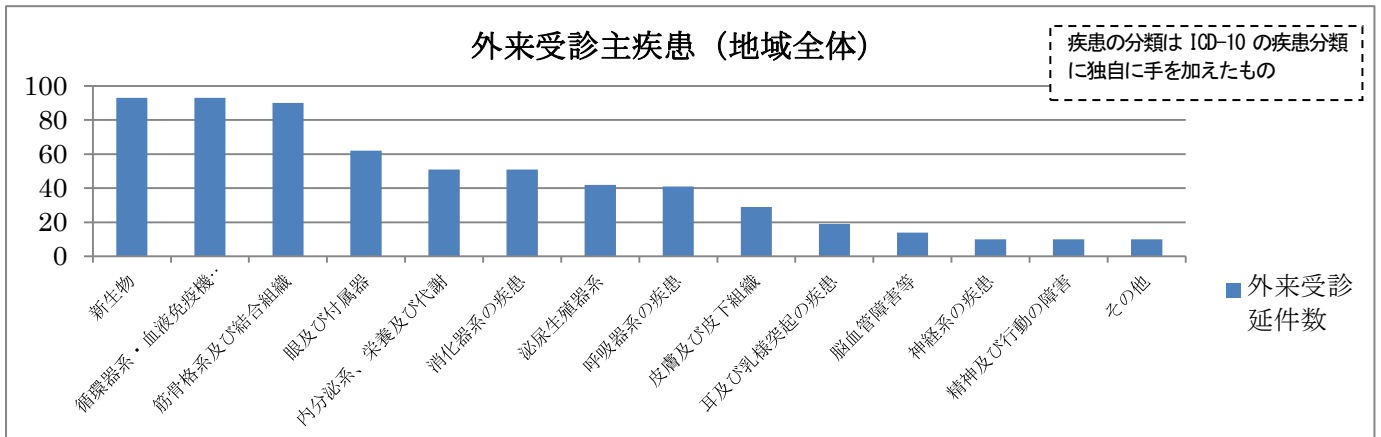


③退院後の外来受診先



【清須市・北名古屋市・豊山町の分析結果】



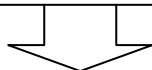


【尾張中部地域の分析結果】

入院先について	<ul style="list-style-type: none"> ・地域内での入院は、北名古屋市は診療科と病床数の多い病院があるため地域内が約30%だが、清須市と豊山町は地域内が15～17%に留まっている ・地域外の医療機関に清須市・豊山町民は約85%、北名古屋市民は約70%入院 ・北名古屋市と豊山町は小牧市・名古屋市、清須市は名古屋市・稲沢市・あま市などの医療機関を利用
退院後の外来受診先について	<ul style="list-style-type: none"> ・入院先と外来受診先が同じであるが約80%で、入院先の医療機関が地域内か地域外かで退院後の外来受診先が分かれる ・外来受診においても北名古屋市は63%が地域内だが、清須市・豊山町は30%台であり、入院できる医療機関の設置状況が結果に現れている
入院・外来の主疾患について	<ul style="list-style-type: none"> ・入院の主疾患は「がん」が最も多い ・外来受診の主疾患「がん」、「循環器系」、「筋骨格系」の受診が多い



課題 入院先が尾張中部地域外の医療機関が多いため、地域外の医療機関の連携体制の構築が必要（退院支援調整、ケース連絡、レインボーネットを活用した連携など）



今後の対応 尾張中部地域在宅医療サポートセンターに地域外の有床病院との連携体制構築を依頼し、病院のSWに尾張中部地域在住の入院患者に地域包括支援センターの案内チラシの配布を依頼予定（資料2参照）

(2) 相談業務（別紙資料3参照）

(3) 第1回地域包括ケアシステム推進協議会

課題	事業展開
家族教育について	<ul style="list-style-type: none"> ・11月29日 講演会「家族や周囲ができる認知症のチェック講座」開催（参加者59名） ・9月より3歳児健診にて保護者に地域包括支援センターの案内チラシを配布